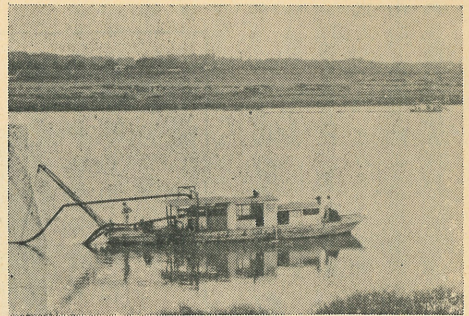


とね

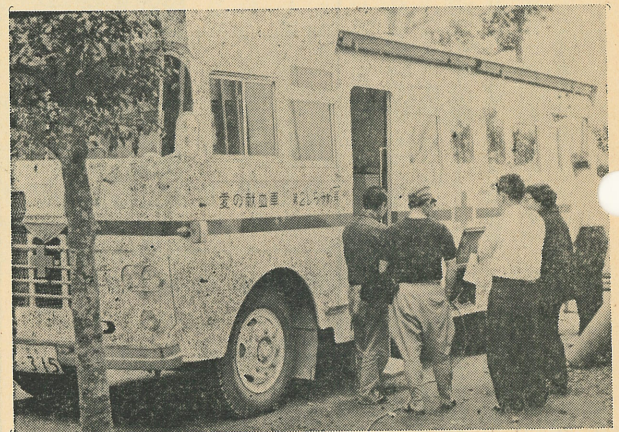
茨城県北相馬郡利根町役場
昭和43年5月10日発行 第49号



献血者ご芳名

(昭和43年3月8日, 11日献血)

氏名	住所	氏名	住所
寺田恒夫	布川	野口博子	惣新田
五十嵐健作	布川	大塚悦子	大房
大野泉	中谷	湯原照子	立木
伊藤益二	押戸	生芝巴	布川
香取平七	布川	斎藤美哉	立木
鈴木まさ子	下曾根	生芝美代子	布川
鈴木美喜男	羽根野	鈴木馨	下曾根
坂本潔	早尾	香取照子	布川
北見正夫	布川	武藤英夫	下曾根
三谷俊雄	布川	豊島文男	布川
五十嵐徹	大平	鈴木美枝子	下曾根
遠山正八郎	布川	飯塚昭	布川
篠崎金夫	横須賀	高橋冷子	立木
高野貴僖	大房	鬼沢秀夫	布川
小泉文雄	立木	沢部良子	加納新田
伊藤昭	横須賀	川上芳男	立木
角田三郎	立木	豊島十三	布川
玉村千代子	布川	高橋幸雄	中谷
岡野敏	押付新田	本橋利夫	布川
桜井悦子	中田切	白戸まさみ	立木
大竹治	下井	村田豊	押戸
大野重信	中谷	立石倫子	大房
山中林	加納新田	篠崎富雄	布川
杉野寿一	布川	小野崎誠一	布川
坂本正直	中田切	寺田公	押付新田
海老原富速	中谷	江口光夫	印西町
押田茂	福木	中村利男	布川
田口佳生	布川	加藤昭三	布川
高野喜道	大房	山本寿雄	布川



献血は人ごと戸ごと職場ごと

◇◇◇75人が愛の献血◇◇◇

血液はなにものにもかえがたい生命のともしびです。いまも病床からきれいな血液を求めている人々があります。健康なあなたも、いつ、どんな病気や災害に見舞われるかわかりません。お互いの生命を守りあうためみんなで献血いたしましょう。

献血は血清肝炎の心配をなくし、あなたの家族、友人、さらに多くの人々の生命を救います。

3月に行なつた献血には多数の方々からご協力をいただき、ありがとうございました。皆様方のとうとい血液によつて多くの傷病者を救うことができ、心から感謝いたしております。今後ともさらにいつそうのご協力をお願いします。

(写真は採血の順番を待つ人たち)

椿恒義	布川	川上保	布川
玉村光明	布川	加納一男	布川
玉村義明	布川	渡辺操	下井
玉村明	布川	五十嵐守	印西町
山沢清	我孫子町	森杉巽	布川
景山順一	我孫子町	小松雅	布川
染谷清	我孫子町	香取喜久	布川
鈴木次男	我孫子町	香取こう	布川
立川潔	布川		

利根町管内小中学校教職員異動

昭和四十二年度末利根町管内小・中学校教職員の異動は次のとおりです。

一、退職
 文間中学校長 直井 清
 東文間小学校教諭 高野と志

一、同一教育委員会
 文間小学校から布川小学校へ
 教諭 高塚 馨

一日に利根町立利根中学校が設置されたため両校の教職員は、利根中学校教職員に配置換えになり、新任校長に藤後忠義、新任教頭に山下俊雄が任命されました。

他の市町教育委員会転出者

旧 任 校	新 任 校	職 名	氏 名
東文間小学校	藤代町藤代小学校	校長	小室 三夫朗
布川小学校	藤代町藤代小学校	教頭	菊地 操
文間中学校	守谷町大野小学校	教頭	倉持 一夫
文間小学校	日立市大久保小学校	教諭	会 沢 通利
布川小学校	取手町白山小学校	教諭	加藤 京子
布川小学校	藤代町藤代中学校	教諭	川 俣 孝

利根町教育委員会転入者

旧 任 校	新 任 校	職 名	氏 名
龍ヶ崎市馴馬小学校	東文間小学校	校長	佐藤 武雄
守谷町大野小学校	布川小学校	教頭	久保田 好
取手町白山小学校	布川小学校	教諭	坂入 しげ子
新 採	文間小学校	教諭	和田 重郎
新 採	文間小学校	講師	久保田 祥子

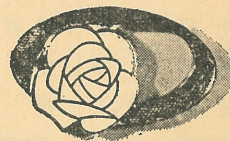
児童を交通事故から守ろう

四月～五月は、新入学児童にとつては、これまでの家庭中心、保護者による常時保護の生活から離れて激しい交通

事情の中を登校するうえに、慣れない学校生活での緊張や疲労などが加わってくるので最も交通事故にあいやすい危

険な時期といえます。車をもっている方は常に安全な運転を励行し、学校や保育所などの付近では、速度を落とすとして左右をよく確認いたしましょう。

選挙をく
 議員正しく
 議院をく
 参議院をく
 議院をく
 参議院をく



利根町選挙管理委員会



父兄もまた通学途中の危険箇所を教えると共に、安全な通行方法を具体的に教えて悲惨な交通事故から児童を守ろうではありませんか。入学前の児童についてはさらに細心の注意が心要です。
 (写真は元気で保育所へ通う児童とそれを見送るおかあさんたち。役場前で写す)

5月のくらしのメモ

一日ごとに木々のみどりは濃さをまし、風はさわやかにほほをなでる好季節がやってきました。農家の方々はじめ多くの人達はそうそううかれているわけにはまいりません

▲メーデー (一日)

労働者の国際的祭典です。

このごろのメーデーは一むかし前のような殺気立つた風景は見られず、まことになごやかなもので、家族づれで参加している写真などが新聞紙上やテレビにうつし出されます

▲八十八夜 (二日)

この日を境にしてもうおそ霜の心配もなくなり、茶どころでは茶つみ風景が見られるようになります。

▲憲法記念日 (三日)

この日を中心にして、一日から七日までが憲法週間、法務省や最高裁判所が中心になつて「法の支配」の重要性を、一般に知ってもらおう行事が行なわれます。皆さんもぜひ参加してください。

▲こどもの日 (五日)

この日はまた「端午の節句」でもあります。

▲立夏 (五日)

初夏の幕あけです。農家は

東京日比谷で全国大会開く



農業者年金制度の 早期確立を要求

「青年がよろこんで残る農村を」「農業者に安らかな老後を」「農業者年金制度の早期確立」をスローガンに、農業者年金制度確立促進全国大会が、四月十六日午前十一時から全国の農家代表約一万人を集め、東京日比谷の野外音

楽堂で開かれました。わが国の農業は、国民の食糧の安定的供給につとめ、経済の高度成長に大きく寄与してきたが、そのにない手である農業に優秀な後継者をとどめることが不可能になつてい

る現在、農業の近代化のためにも、年金制度の充実をはかるべきであるという声が次第に高まり、当日の全国大会となつたわけです。

この日は、利根町からも、農業委員をはじめ産経委員、受検部長、農委事務局職員など代表約四十人が参加し、全国各地からの参加者と共に、農業者の祈念する農業者年金制度実現のため、力をひとつにしてたたかいぬくことを誓い合い、大会終了後は、衆、参両院の議員面会所まで行進してお願いいたしました。

付言すれば、この日会場に姿をみせた西村農林大臣と自ら町行政の円滑なる運営を補助するための利根町区長会が誕生いたしました。区長会は、去る四月二十日の会議で自主的に結成され市川一男氏(布川)が会長に選任されました。

区長会誕生

民党の福田幹事長は、祝辞の中で、四十四年度には実現させたいという構想を述べ、参加者の期待は大きくふくれ上りまりました。「写真は利根町からの参加者。日比谷の野外音楽堂で写す」

国をささえる若い力 二等陸・海・空士の募集

防衛庁では現在、次のとおり二等陸、海、空士の募集を実施しております。

1. 応募資格 18才以上24才までの日本国籍を有する男子
2. 受付 利根町役場住民課
3. 試験 簡単な筆記試験、適性検査、面接身体検査(1日で終了します)
4. 入隊 二等陸士は毎月1回、二等海空士は2~3ヶ月に1回いずれも教育隊へ入隊
5. 待遇 初任給16,100円衣食住いっさい無料諸手当ておよび年3回の賞与支給
6. 応募手続きその他細部役場の住民課までお問合わせ下さい。

田植えや野菜などの手入れに本格的な繁忙期にはいります健康管理には十分気をつけたいでしょう。

▲母の日(十二日)

毎年五月の第二日曜日が「母の日」です。おかあさんの日ごろの苦勞に感謝し、慰めてあげる「母の日」もすつかりわたくしたちの生活に根をおろしたようです。

▲種痘の日(十四日)

種痘とは、牛痘を人体に接種して、故意に軽度のほうそうを起こさせ、これによつてその後再びほうそうに感染しないように予防する方法をいいます。

国際親善デー(十八日)

ロシア皇帝ニコライ二世の提唱によつて明治三十二年五月十八日に、オランダのハーグで日本をふくむ二十六か国が参加して第一回世界平和会議が開かれたのを記念するものです。

▲小満(二十一日)

中国の二十四節気の一つで陰曆の四月後半をいい、陽曆では五月二十一日ごろです。小満とは、万物が次第に成長して一応満足な大きさに達するという意味です。

昭和43年度の町税改正に ついてお知らせ

昭和43年度の町税のうち、町県民税は、減税措置をとられ、下記のとおり各種控除の引き上げが行なわれました

- 1、基礎控除を11万円(現行10万円)に
- 2、配偶者控除を9万円(現行8万円)に
- 3、扶養控除を扶養1人について5万円(現行4万円)に
ただし、配偶者控除をうける配偶者がいない場合、扶養親族1人について8万円(現行7万円)に
- 4、障害者控除は1人について6万円(現行5万円)に、新たに、特別障害者控除8万円
- 5、寡婦、老年者、勤労学生控除を6万円(現行5万円)に
- 6、生命保険料控除最高額2万5千円(現行2万2千5百円)に
- 7、専従者控除限度額を青色申告者については1人について17万円(現行12万円)白色申告者1人について11万円(現行8万円)

この控除引上げにより、前年に比し、所得の伸びがなかった場合には、減税となりますがいずれの業種でも年々所得は伸びています。ことに農業では41年度は病虫害による減収があつたが、42年度は例年にない豊作であつたことと米価の値上がりにより41年に比し大幅に所得がのびています。

住民税は前年課税方式をとられており、この42年度の所得をもとに43年度の住民税を課しますので増税となる方もあります。

軽自動車税については

賦課期日の4月1日現在には変わりはありませんが、原動機付自転車(125cc以下のもの)及び耕うん機は月割課税、月割還付制度は廃止し年税になりました。他の軽自動車(県ナンバー)等については現行制度をそのまま存続することになっております。

たばこ消費税については

皆様のご協力で昭和42年度は700万円をこえるものと見込んでいます。43年度は20本入れ1箱で11円45銭(42年10円99銭)とたばこ消費税が上昇しますのでよりよい町づくりのためどなたさまもたばこは町で買うようご協力をお願いいたします。

今月の納税(5月)

- 豊田せき区費 (第1期)
- 下利根小貝川沿岸予防組合費 (全期)
- 水道使用料

商工会だより

▲事務室の変更

四月一日から商工会事務局が役場の二階に移りました。会員の方々のためにとの町役場のご好意により、二階の一室を使用しております。どうぞご利用下さい。

▲店舗診断

今年度も新事業の計画がいろいろありますが、手始めとして六月下旬(二十四～二十五日頃)に店舗診断を行なう

予定です。都合で日時に多少の変更があるかもしれません。ご希望の方は地区役員または事務局へご一報下さい。費用はいつさいかかりません

▲青年部共催 経営研究会

新年度初の二十日会を四月二十日午後七時から中宿集会所で行ない、常陽銀行支店長を囲む座談会とスライド「じょうずな販売、へたな販売」「ハンコ、暮らしの法律」

「話し方シリーズ」などを上映、ためになると好評でした。毎月行なう予定です。一般の会員の方々もぜひ出席して勉強なさってください。

▲県青年部連合会発足

茨城県商工会青年部連合会は、去る二月発起人会を開いて三月設立総会を開いて発足いたしました。当会でも新井幸雄青年部長が出席、新事業など四十三年度から活発な活動を行なうことと期待されています。

(利根町商工会事務局)

農繁期の防犯について

じないよう注意し犯罪のついているすまをあたえないことが必要です。

五月から六月にかけて、農家では田植えにはじまり田畑の除草、薬剤散布、大小麦の収穫と人びとのころはなんともなく気ぜわしく落ちつかないものです。そのためか各種の犯罪や事故が多くなります。そこで家族そろって野らへ出る時などは、必ず戸締まりを厳重にし、たとえささえな事件であっても、警察へ連絡しみんな力を合わせて犯罪の掃にため、どんなに忙しくてもこころにゆるみを生

町勢 (昭和43.5.1現在)	
世帯数	1.762
人口	8.723
	{男 4.253
	{女 4.470
発行所	利根町
編集	利根町
電話	(029768)9
印刷	利根町